

第4回多摩区区民会議

日時 平成27年7月13日（月）18：00

場所 多摩区役所 6階601会議室

出席者：委員・・・安倍修司、荒井精一、岩野正行、石橋吉章、国保久光、小塚千津子、
近藤清、末吉一夫、杉下祿郎、高橋謙一、辻野勝行、戸高仁子、
藤原司、細埜隆己、矢野久喜、山下宏子、余湖英子

：参 与・・・井口参与、河野参与

：区役所・・・池田区長、小松副区長

区民サービス部：吉田部長、諏佐生田出張所長

保健福祉センター：佐藤副所長

こども支援室：太山室長

総務課：川田課長

企画課：日向課長、井川担当係長、飯塚担当係長

三枝職員、木野田職員

傍聴者：2名

第4回 多摩区区民会議

日 時 平成27年7月13日(月)午後6時

場 所 多摩区役所 6階601会議室

午後6時開会

司会 皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、また非常に暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいま定刻となりましたので、第5期多摩区区民会議第4回区民会議を始めさせていただきます。

本日は、会議に先立ちまして、今年度多摩区長に就任いたしました中村区長から御挨拶を最初に申し上げます。

区長 皆様、こんばんは。この4月から多摩区長に就任いたしました中村と申します。どうぞよろしく願いいたします。本日はお忙しい中、御出席いただきまして本当にありがとうございます。また、日ごろから区政の推進に御理解と御協力をいただきましたことを、改めてこの場をおかりして感謝申し上げたいと存じます。

さて、第5期区民会議も2年目に入りまして、来年3月の提言の取りまとめに向けまして、より活発な調査審議が行われていると伺っているところでございます。また、今年の秋にはフォーラムが開催されますので、より多くの区民の皆様が区民会議の取組を知っていただくとともに、さまざまな御意見などもいただきながら、さらなる議論を進めていただくことによりまして、区民会議の設置の目的でございます暮らしやすい地域社会への実現に向けた成果となりますことを期待しております。

既に御案内かと思えますけれども、本市では来年3月を目途に新たな総合計画の策定を進めておりまして、間もなく皆様にその素案をお示しする運びとなっているところでございますけれども、その中でも参加と協働は引き続き重要なキーワードになっているということでございます。そういう意味からも、区民会議の意義は大変大きなものというふうに認識しているところでございます。

今後とも、委員の皆様や区民の方々と力をあわせ、住民自治の取組を進めることによりまして、より活力にあふれた魅力あるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えているところでございますので、引き続き委員の皆様方の御協力をお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

司会 区長、ありがとうございました。

続きまして、4月に人事異動がございました関係で、新たに着任いたしました部長職の職員から自己紹介をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 こんばんは。生田出張所に参りました須佐と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

たします。

事務局 こんにちは。多摩区のこども支援室の室長となりました太山です。よろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。それでは、開会の挨拶、議事の進行につきましては、石橋委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

開会

1 開会挨拶

石橋委員長 改めまして、皆さんこんにちは。台風の影響でものすごく暑い日中になりました。今晚は熱帯夜かもしれないという予報が出ておるようなんですが、夕方の貴重な時間にお集まりいただきましてありがとうございます。

では、ここから着席にて議事を進行させていただきたいと思います。

2 議事

(1) 各部会での審議状況と意見交換

- ・人・まち・わづくり部会
- ・多摩区の魅力いきいき部会

石橋委員長 では、議事を進めるに当たりまして、資料等の確認を事務局お願いいたします。

事務局 それでは、資料の確認に先立ちまして、本日の会議の公開等について御説明をいたします。本会議は、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、公開の対象となっており、会議録の作成が義務づけられておりますことから、集音用のマイクを設置させていただいております。また、報道席と傍聴席も設けておりますので、あらかじめ御了承ください。さらに、本市の記録及び広報用として会議の様子を写真撮影させていただきますので、あわせて御了承くださいますようお願いいたします。

それでは、資料の確認をさせていただきます。

初めに、本日の次第がございます。次に、資料1といたしまして、第5期多摩区区民会議委員名簿がございます。次に、資料2といたしまして、本日の座席表がございます。次に、資料3といたしまして、「人・まち・わづくり部会」審議経過報告がございます。次に、資料4といたしまして、「多摩区の魅力いきいき部会」審議経過報告がございます。次に、資料5といたしまして、第5期多摩区区民会議フォーラムについてがございます。次に、資料6といたしまして、第5期多摩区区民会議スケジュールがございます。次に、参考資料1といたしまして、第5期多摩区区民会議ニュース第2号がございます。最後に、参考資料2といたしまして、第5期宮前区区民会議中間報告書から、一部フォーラムにかかる部分を抜粋したものでございます。

以上が本日の資料及び参考資料となりますが、過不足等がございましたらお知らせください。後ほど足りないことにお気づきの場合は事務局にお申し出ください。よろしく願いいたします。

石橋委員長 資料の差しかえがあるんですか。事前配付した資料はない、大丈夫ですね。

事務局 本日、資料2の座席表、資料3、資料4が一部修正をさせていただきましたので、本日差しかえ資料としてその分を御用意させていただいております。大変失礼いたしました。よろしく願いいたします。

石橋委員長 では次に、本日の出欠状況について事務局から報告をお願いいたします。

事務局 本日は、配島委員、原田委員から事前に欠席の御連絡をいただいております。また、田澤委員におかれましては、前の御予定の状況によって可能であれば出席との御連絡をいただいております。現在御出席いただいている委員の人数は17名となっております。以上、御報告いたします。

石橋委員長 では、これから議事に入りたいと思います。議事の次第に従いまして進めさせていただきたいと思います。なお、本日の審議内容には、先ほど区長の御挨拶の中にありましたけれども、区民会議フォーラムとも関係がありますので、皆様、忌憚のない意見交換をお願いしたいと思います。

人・まち・わづくり部会、続きまして、多摩区の魅力いきいき部会、それぞれの部会長から、審議の経過報告及び今後の調査審議の進め方について説明をお願いし、それぞれ説明を終えた後に意見交換とさせていただきたいと思います。その後で、また全体で意見交換も行いたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

では、まず人・まち・わづくり部会の小塚部会長から御説明をお願いいたします。

小塚委員 よろしく願いいたします。審議経過の報告ということで、資料3でござらんになってください。こちらの部会では、日頃の住民をつなぐ取組が減災につながるということで審議してまいりました。防災活動を通じた地域のコミュニケーションとかそういう形なんですけど、日ごろから住民を取り巻くコミュニケーションをとっているところでの皆さんから御意見を伺いながらヒアリングしていこうという形で今進んでおります。何かありましたらお願いします。

国保委員 この資料をござらんになっていただいて、大まかなところはおわかりだと思いますけれども、最初に防災をターゲットとといいますか、頭に置いて、この人・まち・わづくり部会をスタートして、防災に関係したところから始まったんですけども、結局はそこにございますように、人々がうまく連携し合うようなまちづくりとといいますか、そういう各区で行われる成功の集まりですね。集まっていいコミュニケーションをとれた、そういったコミュニケーションをとれたところから防災の活動も加えてやっていこうということで、スタートからちょっと変わっています。

ですから、私としては、前回同様、余りコミュニケーションを中心にいきますと非

常に総花的といいますか、また結論が出ませんので、防災のことを頭に置いて、それから、今回はそれぞれ成功していると言われる町のイベントの中から特徴的なものを取り上げて、それを幾つか列挙して、それを各自治会・町内会に聞こうということで話が進んでございますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

石橋委員長 一応事前配付されているにしても、この内容を説明してください。

小塚委員 この前、7月3日ですけれども、町会長さんをお願いしてきました。これから伺う予定になっていますけれども、内容としては今お話ししたような形です。部会の中で話しまして、中野島町会長では、今、中野島音楽祭をやっているということだったので、7月25日に伺おうかなと思っています。あと、新多摩川ハイムの取り組みということで、防災マップを学生さんたちと作成しているということをお願いしました。そちらもちょっと伺おうかなという話も今出てきています。

長沢自治会では、生田高校と地域の小学校を交えて音楽祭をやっているとか、専修大学などとの連携で防災の取り組みをしていこうじゃないかということで、自治会長さんがお話ししてくださったりしています。盆踊り大会の取り組みとしては、地域の方にいろんなものを配布して皆さん楽しんでいるというお話でした。

宿河原町会は単位組織がしっかりしているということで、そういう話も出てきています。

菅町会はすごく大きいので、その中でもどういう取り組みをしているかということでお話を聞きたいねということで、今お話を進めている段階でございます。

石橋委員長 人・まち・わづくり部会にかかわっている方々で補足説明がありますか。

近藤委員 右側の表に、候補ということで中野島町会、長沢自治会という名称が載っていますが、中野島町会の中野島連合会と後ろに連合会というのがあります。というのは、中野島町会だけではなくて、中野島地区の範囲にある中野島団地自治会とか、多摩川住宅自治会だとか、6連合の町内会・自治会がありますので、ここの連合で主催をしているのが、この内容の中野島音楽祭の開催と捉えていただければと思います。ちょっと補足です。

石橋委員長 そのほかの部会員で補足説明はありませんか。

では、皆さんで意見交換ということで、質問がありましたらお願いしたいと思います。

荒井委員 中野島町会の新多摩川ハイムの取組という中で、専修大学及び明治大学のゼミと共同して防災マップを作成しているとあるんですけれども、これは新多摩川ハイムが中心となってゼミと共同という形なんですか。その辺はどんな感じなんですか。

近藤委員 新多摩川ハイムという管理組合がありまして、これは先ほど言いました中野島町会の中の1つが新多摩川ハイムの管理組合ということで、ですから、中野島町会の

中の組織の一員で、専修大学と明治大学との共同で防災マップを作成したという経緯があります。ですので、中野島町会として取り組んでいるというふうに御理解いただければと思います。

荒井委員 この防災マップというのは、そうすると中野島町会に限ってという感じなんでしょうか。

近藤委員 そのとおりでございます。

安陪副委員長 ただいまの資料の一番下にあります登戸東通りさん、商店会でナイトバザールという長年にわたって活動なさってこられた細埜会長にちょっとお聞きしたいんですけれども、このところ区画整理で大変店舗の取壊し等で歯抜け状態になってしまったんですけれども、各団体さん、学生さん、市民団体、いろいろありますけれども、その辺の今後の維持、つながりをどのような形で保っていけるのか、もし困窮した状態になったとき、人のわづくりを維持する方法とか何かいいお考えか何かありましたら、お知らせいただきたいんですけれども。

細埜委員 今現在は、ナイトバザールは非常に好評だったんですけれども、商店街が1軒ずつだんだん取り壊されたりいたしまして、空き地が非常にふえております。そのために、商店街としてのつながりが空き地で途切れていくような形になっておりますので、年に三、四回、13年ぐらい続いていたんですけれども一時中断ということで、何もやらないとますます商店街が衰退していってしまいますので、昼間のなまずんバザールという、うちの商店街のキャラクターとして、なまずんというナマズの格好をしたキャラクターを商店街で考案したんですけれども、そのキャラクターの名前をとって、なまずんバザールというのを2回開催いたしました。ただ、ナイトバザールみたいな規模にはなかなかできないんですけれども、何とか空き地を利用して、明大生とか、小学校、地域の団体と協力して続けていくように努力していますけれども、どうしても規模は小さくなってしまいます。

この間、2回目のなまずんバザールを行ったんですけれども、そのときはまちづくり協議会の多摩エコスタイルさんとか、幾つかの団体さんに協力していただきまして、1回目は五、六百人だった記憶があるんですけれども、2回目は1000人以上は見えたと思います。これからもますます空き地がふえてしまうので、何とか頑張らなくちゃと思って、11月14日に3回目をやろうという計画をいたしております。

安陪副委員長 ありがとうございます。

石橋委員長 そのほかに御意見はございませんでしょうか。

ないようですので、次に移らせていただきたいと思います。多摩区の魅力いきいき部会、杉下部会長、よろしく願いいたします。

杉下委員 多摩区の魅力いきいき部会の報告をさせていただくんですけれども、この部会は繰り返し同じことをやっているんじゃないかという委員間の意見がずっと出てきて

おりまして、繰り返してはないかというのが、ようやく前回で一応の進むべき方向が絞られたかなという状態です。

これから報告をいたしますけれども、いささか主観的な内容になっているかもしれないので、この部会の委員の方々で、それは違うよとかいろいろありましたら、後でどうぞどんどんと意見を言っていただきたいと思います。数分間の報告になりますので、最後の1分ぐらいを聞いていただければ後の討論に支障はありませんので、眠くなったらどうぞお休みください。

多摩区のいきいき部会では、昨年12月のこの部会発足以降、毎月1回の部会で、区に顕在する多くの魅力的な資源をいかに活用できるか、区民の意識を高めることができるか、区外の人にアピールできるかについて話し合ってきました。

川崎市は、皆さんよく御存じのとおり南北に長くて、荒っぽく4つに分けるとそれぞれが特徴を持っている地域になります。宮本町の人には極めて扱いにくい地域のようです。というのは多摩区のことです。海と港、臨海工業地帯の川崎区、新開発著しい武蔵小杉地域、既に開発が終わってにぎわいを見せる溝の口周辺に比べて、50年近く前の整備計画に縛られて一向に開発整備が進まない多摩区は手に負えないのではないのでしょうか。そういう印象を持っています。

先祖代々の大地主、学際的人種の多い3大学——当然なんですが——都心へのアクセスが非常に便利な登戸、遊園、多摩区全体、一時しのぎの住民が多いのではないか。後継ぎ不在の多くの商店、論理的思考人種が多く住んでいるような感じがする多摩区とか麻生区。何とも厄介な多摩区と感じます。これは私見です。

区にはたくさんの魅力ある資源が存在するのだから何とか生かそう、活性化しようとの課題は連綿と続いてきたテーマです。15年から20年同じことをやっています。1900年代というのはちょっと表現が荒っぽいんですけれども、2000年直前あたりから今年に至る間の変化は何だったかと申せば、それは情報伝達手法の変化ではないのでしょうか。

今や60代の方はもとより、70代の方も使い切れないソフトをたくさん抱え込んだスマホを持っている方が多い時代です。私は数年前から自分の練習会のQRコードを用意してバーコードリーダーで読み込めるようにしているんですけれども、この読み込みすら自分ではできない人たちもスマホを使っています。今はそういう時代です。5期の区民会議のいきいき部会に課せられたのは、この時代の変化に対応するPR手段への適用ではないかと考えました。

ネット動画を作成してどの年代の人でも多摩区のさまざまな情報を手元で手軽に見ることができるように、さまざまなシリーズで動画をつくり発信し続ける、動画づくりには3大学の学生の協力を得て若い感性を取り込みたい。また、川崎市立川崎総合科学高等学校にデザイン科がありますので、より若い感性に期待して協力を依頼して

もよいのではないかと思っています。さらに、映像のまち・かわさきを謳歌する市民・こども局にもお知恵を拝借したいところです。

このシリーズには多摩川音頭も取り込みやすいです。多摩川音頭の普及には、2002年に関係者が講習会を開くなど普及努力をなされた記録がありますけれども、成果はどうだったのでしょうか。多摩川音頭というのは、昭和4年10月に完成して31節あります。中の8節がレコード化されたと記録を見ました。その効果が上がっていないとすれば、手法に問題があったのかもしれないと感じます。PRビデオができたらまちづくり協議会のマグネット多摩にも協力してもらえらるでしょう。

ちょっとテーマが変わりますが、開発整備事業の遅延による登戸駅前、向ヶ丘遊園駅北口周辺の未完成状態の放置による無様な状況を、たとえ短い間でももう少しましな状態でありたいと願う区民の気持ちがあります。まちづくりにおいては、昔はバリアフリーが叫ばれ、その後、ユニバーサルデザインにやや対応が広がり、さらにサステナブルデザインが提唱されて久しいです。このようなまちづくりの要因も提唱し、あるいは解決しながら多摩区の魅力発信のビデオづくりを進めたい、幼児連れでの行動に支障はないか、案内標識は完備できているか、サイクリングロードの安全は確認できているか、食事や休憩の設備は十分か、けがや体調不良などの緊急対応はどうかなど課題は多いけれども、新しい情報発信を通じて関係する多くの問題に気づくことと思います。ビデオづくりは決して簡単な作業ではありません。

第5期区民会議いきいき部会ではこの発想でよいか検討に移ります。全体会議で多くの委員の方々から建設的御意見を承りたいと思います。委員の方で内容に不備があればどうぞ補足してください。よろしく願いいたします。

石橋委員長 ということですので、まず最初に、多摩区の魅力いきいき部会の委員の方々で補足説明がありましたらお願いいたします。

荒井委員 今、部会長から説明があった件ですけれども、前回の部会でもそうでしたけれども、実際に部会の中で発言があった内容ではなくて、部会長の私見が今の説明は大部分占めておりますので、本来的にはここに書かれている内容であるというふうに申し上げたいと思います。

石橋委員長 そのほか、部会員で御意見、補足の説明があればお願いします。

矢野委員 審議課題について、検討状況を説明させていただきます。上の多摩区の魅力を掘り起し発信する、子どもが多摩区の伝統文化と接する機会をつくるというところについて、動画とか市政だよりやコミュニティ誌などのメディアを使って継続的に特集を組むというようなことが今のところ案として挙がっております。ただ、これらについてはどのような対象者、層に、何をどうやって伝えていくのか、どういう媒体を使って、何をどう伝えていくのかというところの検討がこれからの大きな課題だと思っております。そこら辺のアイデアを出してぜひ実現させていきたいと思っております。

す。

それから、真ん中の枠の下に書いてあります審議課題案4、キーワードとして区画整理途中の景観維持。区画整理後でもなく、区画整理前でもなく、最中の景観を市民の目から見て、利用されていない、あるいは景観としておかしいというところが約10カ所ぐらいございます。これについても、ここに書いてありますように、報告書の中では何らかの形で市民の目を残していきたいと思っております。

それから、審議の中で私が感じたところで、非常になるほどと思ったのが、この魅力いきいき部会で毎回のように出てくるのは生田緑地の魅力ということについて、どう伝えていったらいいのかということが課題になる。事ほどさように、皆さん、いいところである、民家園を含めて藤子・F・不二雄ミュージアム、バラ園を含めて非常にいいところであるというのは毎回のように出るわけでございます。

その中で1つお話としてなるほどと思ったのが、向ヶ丘遊園駅じゃなくて生田緑地駅がいいんじゃないかという一言がございまして、これは私いたく感激しております、考えるに足りるアイデアかなと思っております。

藤原委員 先ほども出ましたけれども、我々生田緑地について余り知らないということが出ました。この前、外国からお客が来たので生田緑地に行ったんです。そうしたら、英語版とか韓国版の案内図が出ていまして、こんなに宣伝しているんじゃないかということがわかったんです。それから、いろんなイベントをやっているんです。ちょうど私が行ったときは竹とんぼづくりをやっているまして、我々が知らない中で随分進んでいるなと思いました。

私が提案したのは、生田緑地駅にすればもっといいんだということで提案しているんですけれども、向ヶ丘遊園はなくなりましたから、これをどのように働きかけていけばもっと生田緑地がPRできるんじゃないかと考えているわけです。

石橋委員長 では、全体で意見交換ということで、人・まち・わづくり部会の方々からも御意見がいただければと思うのですが。

藤原委員 伝統文化の継承でございましてけれども、この前雑誌を見ていたら、各県で地域文化伝承館というのをつくって、地域の文化を発信しているんですね。ですから、こういうのを川崎市でつくるのか、多摩区でつくるのかわかりませんが、いずれにしてもそういうものをつくって、そこで今の多摩川音頭だとか、多摩区にはまだたくさん歌や踊りがありますので、そういうものもそこで広めていけば、そこへ行けばみんなわかるんだなという形でこれから広げていけばいいのかなという考えもあります。ただし、これはお金がかかることですからすぐにはいかならないと思っておりますけれども、そういう気持ちが大切ではないかと思っております。

石橋委員長 伝承館をつくったというお話ですけれども、そのほか御意見はございませんか。きょうこの場に、行政のほうの学校関係者はいないんですね。地域では、も

う小学校、中学校で伝統文化を1つの学校行事の中に組み込みながら伝承という作業をされています。伝承館も必要かもしれませんが、学校教育の中でそういう地域の文化をどうつないでいくのかというのが伝承にもなりますし、ある意味では広めるということにもなるのではないかと、今、藤原委員の伝承という言葉でそう感じました。

国保委員 矢野委員がおっしゃっている区画整理、事業エリアの中で、とにかく現地調査をして、景観上課題と思われる箇所をピックアップする。区画整理しているところにも魅力を出そうというふうに考えてよろしいですか。今、区画整理をしている、この区画整理と景観の問題というのは、関係はどんなふうに捉えていらっしゃるか。

それからもう1つ、動画とおっしゃっていますけれども、動画の内容の具体的なもの、特に景観上こういったものがあるのか、それは頭に何かございますか。今のところの想像でもよろしいんですが。

矢野委員 区画整理途中の景観という件でございますけれども、申し上げている意味合いは、例えばで言うと一番わかりやすいんですけども、登戸駅の階段に向かって左側の囲いになっているスペースがございますね。あれは、何でああいう形になっていて、何で活用できないのか。あるいは、2つの駅をつなぐ橋の下にある囲いができていて、とにかく立ち入るなという状態になっているんです。あれは、先々どういう形にしていくのか、何に利用していくのか、ただ余計なものを置くな、人は入るなということで囲んでいるように今は見えるんですけども、そういうところについて、できればもうちょっと利用、活用できるようなアイデアがないかというのが1つの視点です。

それから、動画と区画整理というのは全く別の話でして……。

石橋委員長 そうではなくて、動画の内容について聞いているんでしょう。

国保委員 動画を使った場合に、どういう状態のものを、どういう景観でもよろしいんですけども頭に置いて、動画を撮る場合に、こことここと撮っていると思いますけれども、動いているものを撮るのか、景色を撮るのか、そういう動画というものに対する具体的なお考えは何かございますか。動画を出して見てもらう、出して見せる内容についていかがですか。

矢野委員 そこについては全く議論はしておりません。このグループの中では議論しておりませんが、全く個人的な意見ですけれども、普通にやるナレーションを出すだけでは全く魅力がないことになってしまいますから、かなり特徴を出さなければいけない、工夫を出す必要があると思います。例えばドラえもんが各地を案内するとか、そのぐらいのことが、思いつきですよ、そのぐらい何か特徴を出さないと、ただあちこち訪れてナレーション、絵が出てくる、音楽が出てくるだけではちょっと寂しいなと思います。

国保委員 動画については検討中ということですね。これから。

矢野委員　そうです。

国保委員　わかりました。ありがとうございました。

余湖委員　具体的にまだ話し合いはしていないんですけれども、私なりにちょっと考えていたことなんですけれども、後継者のいなくなってしまう古い地域の歌、五反田節等はまだ後継者がいらっしゃいますけれども、婚礼のときのお嫁さんを迎えたときの地域に古くから歌われている歌とかは、結婚式場で結婚式をするようになったら、後継者もいないし、高齢になっていて、歌う機会もないとか、そういったたぐいの伝統芸能等を動画に今残せるんだったら記録として残せたらいいなという気持ちはあります。そういったことを残してほしいということを希望しています。

石橋委員長　私の振り方がまずくて、本来なら部会長の杉下さんに振らなければいけなかったのかもしれませんが。改めまして、御意見がありましたら。

杉下委員　ビデオづくりというのは、実際には何巻でもできるわけですが、何のためにどういう人たちに向けてどういうものをつくるかという検討は、まさに部会ではこれからです。例えば幼児連れのお母さんたちが散歩をするコースというタイトルでもいいでしょうし、あるいはお花めぐりというようなタイトルでつくってもいいでしょうし、生田緑地に集中してもいいし、外国人向けのシリーズがあってもいいし、要するに、シリーズというのは企画ですから、これはこれから皆さんがどういうものを先につくろうか、予算もあることですし、あるいは若い学生たちがどんな感性でどういう企画を出してくれるか、これは楽しみでもあります。そうしたことで全く白紙ではあるけれども、中身はたくさんあるというふうなつもりで私は発言しています。そういう発言からまた触発されて展開していくことを期待しながらの発言なので、これはまさに部会で決まったことでも何でもありませんという前提でお聞きいただきたいと思えます。

石橋委員長　国保さん、よろしいですか。そのほかに御意見はありませんでしょうか。全体で集まるのは2年間でもそんなに回数はありませんので、一通り右から順番にというのもあまりやりたいことではないので……。

御意見がないようですので、これからの進むべき道ということで、人・まち・わづくり部会につきましては、今後の取組についてという右側の考え方、多摩区の代表的な地域を対象にヒアリングを行う方向で調整を進めます。ヒアリングの候補といたしましては、そこに書いてあるとおりで、そこに対してヒアリングを行っていくということです。

それから、多摩区の魅力いきいき部会につきましては、一番右端の審議課題についてということで、多摩区の魅力を掘り起し発信する、子どもが多摩区の伝統文化と接する機会をつくるということで、今後の取組については、市民が主体的に、また市民と行政が協働で地域の魅力資源を動画でPRしている活動について学ぶという今後の

構成について皆様方で御了解していただけるでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

石橋委員長 ありがとうございます。そのことが(2)の第5期多摩区区民会議区民会議フォーラムにも結びつくと思います。

(2) 第5期多摩区区民会議 区民会議フォーラムについて

石橋委員長 では、(2)多摩区区民会議フォーラムについて、事務局から御説明をお願いいたします。

事務局 それでは、第5期多摩区区民会議区民会議フォーラムについて御説明させていただきます。資料5をごらんください。

前回、3月24日に開催いたしました第3回の区民会議におきまして、フォーラムの開催目的とおよその開催時期について御確認をいただきました。開催目的としては、区民に対する調査審議状況の中間経過報告、報告内容等について広く区民から御意見等をいただいて今後の提言に反映させていく、この2つの意味合いを持ってフォーラムを開催したいということでございます。開催時期については10月下旬から11月ということでしたけれども、前回の会議後に皆様と調整させていただきまして、11月3日火曜日、文化の日に開催いたします。

本日は開催場所を決定いただくとともに、開催手法について意見交換を行っていただきまして、基本的な方向性を確認できればと考えております。本日の決定事項と意見交換を踏まえまして、今後の部会等での審議を進めていきまして、フォーラムの前に改めて全体会議を開催して確認という流れに持っていきたいと思っております。

開催場所につきましては、3つ候補を挙げさせていただきました。大きく分けて、これまでの多摩区役所、それから外へ出ていきたいと思いますという御意見がありまして、生田緑地、この2つになるところでございます。

生田緑地については、生田緑地東口のビジターセンター、かわさき宙と緑の科学館学習室、メイン会場として2つございます。同じ生田緑地ですので、①と②をあわせて使うことも可能かと考えております。ビジターセンターにつきましては入り口を入れてすぐということで、大変わかりやすく人目につきやすいということがございます。宙と緑の科学館につきましては、中央広場に隣接しておりますので、中央広場に滞留する市民の方々、区民の方々を招き入れるには適した立地かなというところでございます。生田緑地については天候の心配がございますけれども、これまでとは違った場所で、より区民会議を皆様にご覧いただくという意味では1つ広報価値があるかなと考えております。区役所につきましては、これまで同様でございますけれども、アクセス面、天候の影響が少ないという点では1つ優位な点がございます。ただ、これまでの実績として参加者が少なかったというところがございます。

この3つの中から、これから皆様に御議論いただきまして、本日開催場所を決定いただければと思っております。

開催手法といたしましては、これまで皆様からも御意見がございましたように、気軽に参加できる雰囲気をつくるということでカフェ形式がございます。本日、参考資料2として、宮前区さんのフォーラムの資料をおつけしておりますけれども、こちらでも採用された方式、その他、本市としてもさまざまな場面で最近活用している手法でございます。

あわせて、より多くの皆様からの御意見をいただく手法を採用してはどうかという御意見もございました。それから、より具体的な御意見として、起震車を呼びましよう、もしくは多摩区の観光大使を務めていらっしゃる落語家の方を呼んではどうかというお話、それから、緑地で開催しますので生田緑地のツアーをやってはどうか、そういった御意見がございました。今後の広報につきましては、大きなものとしては10月1日の市政だよりに掲載する方向で調整を進めてまいります。8月中旬が原稿の締め切りとなっておりますので、期間が大変ない中になりますけれども、それに向けて急ぎ内容を詰めていきたいと思っております。

その他、区役所ホームページ、チラシ等により広報をするとともに、例えば区民祭りでチラシを配布させていただくというようなことで、より皆様に知っていただく取組を進めていければと思っております。

スケジュールにつきましては、資料6に、フォーラムの開催についても少し細かく記載したものを御用意いたしました。フォーラムの部分の説明をさせていただきますと、この後、今月末、29日、30日で2つの部会を開催いたします。その中でも、フォーラムのおおよその内容について御検討いただきまして、この後、御意見もいただければと思いますが、それをもって、この後、会議の予定がないため、我々事務局と正副委員長とでおよその掲載内容を調整させていただきまして、市政だよりの手続を進めてまいりたいと考えております。

その後、8月、9月の間にもう1度部会を開催いたしまして、より詳細な内容を調整させていただきまして、企画部会、それから第5回の全体会議で内容を確認させていただきたいと思っております。それをもってフォーラム本番を迎えたいと考えてございます。

資料の御説明は以上でございます。

石橋委員長　まず、きょうは第5期区民会議のフォーラムの開催場所と開催手法について、これから皆さんと意見交換をしまして、その方向性をきょうここで決めたいと考えています。今、説明がありましたように、広報に市政だよりを使うとなりますと10月1日号で、8月中旬が原稿入稿の締め切りになりますから、きょうお集まりの全大会でこの方向性を決めて入稿の運びとしたいと思っておりますので、まず、場所について、

①、②、③、大きく分けますと多摩区役所の11階の会議室と生田緑地という形になりますけれども、まず御意見をいただきたいと思えます。

戸高副委員長 私は、生田緑地の東口のビジターセンターを推薦したいと思っています。

これまでも区民会議は区役所を利用してきましてけれども、今年度取り上げている多摩区の魅力とかそういうテーマを考えましても、場所を変えて参加していただく方たちのちょっと魅力あるフォーラムの中身にしたいと思ひまして、外でというところで提案したいと思ひました。

辻野委員 私も生田緑地の①、②をうまく使った形での会場設定ということ。その趣旨は、多摩区の魅力というもの、顔づくりというのが1つのテーマになっていますから、こういう使い方をして区民に徹底するという手法になるんじゃないかと思ひ、だから、①、②を組み合わせた形を推薦します。

小塚委員 私もビジターセンターをお願いしたいと思っています。もともと防災とか、コミュニティをやりたいということだったので、起震車の体験とか、落語の先生もいらっしやるので、多摩区の魅力をお話ししていただけたらと思っています。

石橋委員長 今、まず場所を決めて、その次に開催手法、どういう方法にしましょうかと、一緒にやると、わからなくはなりますけれども……。

岩野委員 私も、生田緑地のビジターセンターは賛成ですけれども、年中私も使っているんですけれども、ちょっと狭いんじゃないかという気がするんです。かえって11階のほうが広いんじゃないかという心配が。半分近くが飲食スペースやいろいろ販売機があったりするのでかなり狭いですよ。人数がどのくらい来るか、その辺がちょっと心配です。

石橋委員長 場所につきまして、これは事務局のほうで下見もされてきているんでしょうけれども、今スペースは大丈夫でしょうかということなんですが。

事務局 済みません。ビジターセンターさんに私自身は何っていないんですが、ただ、スペースとしては11階のほうが広くはとれると思ひます。複合してお使いいただくとか、工夫によってその辺は十分カバーできるかなと思ひます。

石橋委員長 工夫すればということです。

杉下委員 いきいき部会では、まだ皆さんに諮っていませんけれども、ビデオの試作品ぐらひは短いものでもつくって、それでそのフォーラムで皆さんに意見を求めるということができるようになりたいというはかない希望を持っているんです。それに十分なスペースがあるかといったようなことがちょっと気になります。僕はこのビジターセンターを知らないものですから。

安陪副委員長 私もビジターセンターの案に賛成です。というのは、ビジターセンターですと、各方面にいろいろ募集の案内は出しているんですけれども、生田緑地においてになっているいろいろな方が、より多方面からお集まりになっている方の参加が望め

るんじゃないか。そのことによって、また我々の気がつかない他地区からのお客様の声を聞く、そのことを今後の我々の活動に反映させていけたらなと思って、ビジターセンターを賛成ということで言わせていただきます。

石橋委員長 どうもスペース的な話があるんですけども、私自身もビジターセンターは1回行っただけなものですから大きさがどうと言うことはできないんですが、先だっ
ては小塚さんが結構なスペースがあるよと言われましたが、どうですか。

小塚委員 ここよりも少し広いくらいですよ。

岩野委員 いや、階段からスペースを見ると、そんなに広くないですよ。

辻野委員 岩野さんが言うように、あそこはいろんなものを置いているから、自販機とかね。

岩野委員 大勢来てくれれば来るほどそういう面で問題があるんじゃないかな。

戸高副委員長 会場としてはこのぐらいのスペースのイメージで考えていただくような広さだったと思うんですけども、テーブルと椅子が置いてありますけれども、ワークショップ形式で、例えばですけども、2つの部会でグループに分かれていただくような感じでやることも可能かなと思ってイメージはしています。ですから、椅子だけで皆さんでやっていただく。カフェ形式という提案もありますので、片方でカフェコーナーをつくっておいてみたいなレイアウトのイメージでできたらいいかなと思って
いるんですけども。

石橋委員長 次のどういうふうにフォーラムを区民に見せるかというところも関係してくると、最初からそう思っていたんですけども、まず外に出るか出ないかという今回が大きな変換点ではないかと思うんですが、御意見からすると出てみようかという御意見のほうが多いようですので、あとは、2つ場所があって、宙と緑の科学館の学習室と併用しながらというふうにすると、隣接しているわけじゃないですから、距離にしたら短いと言うけれども結構な距離がありますので、そういう意味合いでは2つを併用するというのもどうなのかなとは思いますが、1つは、ビジターセンターにはスクリーン設備とかはあるんですか。

戸高副委員長 あります。

石橋委員長 あるということですから、まず1つは、機材があるようですから、杉下部長が言われたものを映すということではできそうですから、どういうふうに見せるかということではこれからまた皆さんと討議しなければいけないんですが、外へ出ること
でよろしいでしょうか。

杉下委員 副委員長が言われたこの部屋ぐらいの広さというと、仮に幾つかのグループに分かれて討議するなんていうときには、隣の声が聞こえてとても話し合いがしにくいという、それはいつもいろいろな行事で経験していることなので、それは心配です。
区民会議主催のフォーラムというには広さがどうなのかなというふうに、ちょっと疑

問を持ちます。

石橋委員長 広さからいったら、本当に私も1回通過したぐらいですし、科学館の学習室もどれくらいの大きさなのかも……。

岩野委員 2つつなげたらここより広いかな。

石橋委員長 学習室だと、2つつなげればここよりかは広い。

岩野委員 ①、②があるから。ただ、本当に公開して大勢来てくれればくれるほど、スペース的にはちょっときついなというのを、私はそれだけが若干心配がある。

石橋委員長 総合庁舎でやっているのと、大ホールでやるんだという意気込みでやるんだったら、その意気込みで頑張ればいいだけのことなんですけれども、そうすると結局次の開催手法というか、そういうところとの絡みが物すごく絡んできますし、何しろ場所と開催手法とそれぞれに議論していてもなかなか先に決まらないと思うようになりました。

辻野委員 開催の仕方が、フォーラムのときに入り切らないというんだったら、魅力いきいき部会と、わづくり部会を別々で、ここに参加してやりたいというフォーラムの参加者を2つに分けてやるという手法はあると思うんです。

石橋委員長 そのときでも、欲張った人が、前半の部分はAに行きたいけれども後半部分はBに行きたいとしたときには、そういうのがなかなか難しいなと思って私は言ったんですけれども、最初からAとBと分けて、こちらはわづくり部会ですよ、こっちはいきいきだよと焦点を絞って開催すれば、これだけのスペースがあればグループ討議をするときに2つぐらいに分けるのが一番、3つ、4つは多分隣の人の声が聞こえてやりづらいと思いますので。

山下委員 区民会議を皆さんに広く知っていただくということが目的というふうに受けとめておりますけれども、私自身、今回第5期で参加させていただきましたが、本当に区民会議の存在を知らずにおりました。第1期から第4期までフォーラムも開催されていたということですから、本当に知らしめるということがどれほど大切なことかと思うんです。

ですから、どれほどの方がおいでくださるかということはそれ以前の問題であって、私は初めて、こういうことがあったということも知らずに現在までおりました。ですから、経験された方々が多いわけですから、その経験をもとにして、たまたま宮前区のフォーラムを私は3月の時点で魅力的だなと思ったんです。それに参加する方は、Aコース、Bコースみたいな感じで分かれていて、Aコースに参加した方はどうやって次の全体会議に出たりするのかなど思ったぐらい魅力があって、参加者も多かったのではないかと想像するんです。

だから、こういうようなつくり方というか、何をどう皆さんにアピールするかという目的があってすることだと思うんです。第4期の災害について、防災について、そ

のときのフォーラムはどのようなものでしょうか。今回もそれが課題になっているわづくりの部会、そういう意味では、第4期の方がまた参加してくださるというぐらいのことで成り立つのではないかと。そうすると、会場はどういうところがいいのかといったことも参考になるのではないかとか、第1期から第4期までの経過は、プリントされたものを私は持っておりますけれども、皆さん同じようなことを考えてきていましたねということなんです。だから、そのときに考えられたことをもう少し煮詰めていったら、もっとよりいいものができる第5期ではないかと思ったことがあります。

ですから、このフォーラムについても、1期から4期までの方も動員するような形でアイデアもいただきながら、それでどこにしたらよろしいか、どれだけの方を動員できるか、そういったことの目的意識と、本当に区民会議は知らない方のほうが多いです。ですから、存在があることによってまた新しく参加される委員が出てこられることを願ってフォーラムをしていただきたいと願っております。

石橋委員長 していただきたいというところだけ私は抵抗があります。それは皆さんでやるんですから、他人任せはだめですよ。していただきますじゃなくて、やりましょうという気概にならないといけないと思うんです。

さっき、第4期の防災の件がありまして、ちょうどそのとき部会長を務められた荒井さん、一言。

荒井委員 前回の第4期の防災の部会については、11階でやりまして、なかなか一般の方の参加というのが場所的にも参加しにくい場所でありましたので、数名の方が参加いただいたという状況です。ですので、今回表に出てということなので、場所の広さが問題であれば両方使うという形も考えられると思いますし、この辺は今日中に全部決めないといけないんですね。

一応、今まで検討した内容を説明して、参加いただいた方から意見をいただくという形式で進めましたので、今回は、そういう意味では、来た方も入ってみようかなと思うような形になると思いますので、参加者が多少ふえるかなと思っております。

国保委員 このフォーラムは、おっしゃるように区民会議は知られていません。フォーラムをやって人がわんわん来るようなことであれば大変ありがたい話で、生田緑地でやってスペースがないなんていうことがあれば大変結構なことですね。ですから、私は、後ろの方には申しわけないですけれども、役所というのは全然色気もないし、おもしろくも何ともないですよ。ですから、外へ飛び出してやる、これは非常にいいことだと思います。知る知られるという問題もありますけれども、ひとまずこういうふうに出て行って、それでやってみるということが一番で、基本的には、こういうことを知って、この内容を知って、それを質問し聞きに来るといった人は非常に少ないです。ですから、会場が満員になるとかいう心配をするぐらいであれば非常にうれしい

話なので、私は生田緑地ビジターセンターでぜひやっていただきたいと思います。

杉下委員 開催手法の中にカフェ形式を採用するとあるんですけども、これは絶対というわけではないでしょうけれども、確かに飲み物を自分たちで入れたような何かがあると、これは大いに魅力なんです。ですから、ぜひそうしたいけれども、その場合にもやはり場所というのはちょっと気になるというのが1つ。

開くときに区民会議というのがメインタイトルではなくて、区民会議はサブタイトルにして、多摩区は楽しいぞとか、そういうのをメインタイトルにしたほうが皆さん来てくれるんじゃないか。つまり、寂しいかもしれないけれども、皆さんおっしゃるように、区民会議というのはそんなに皆さんにいい印象として残っていないと思うんです。区民会議というのがある、そこでは代表としての皆さん、委員が多摩区全体のこと、皆さんのことを考えているんだと、本当かどうか知らないんですけども、どうもそういう雰囲気では知られてはいないので、やはり区民会議はサブタイトルぐらいにして、いかにも楽しい会議という期待が持てるようなタイトルにしてほしいなど。してほしいと言うとまた委員長に怒られますけれども、そうありたいと思っています。

石橋委員長 ネーミングについては、今までのとおり区民会議フォーラムよりも、1つひねったほうがいいのかなと思うのは、最近ある施設で、施設紹介というのは、一般的にはこんなことをやっておりますというだけけれども、最近お尋ねした施設では、私どもの看護師さんとは、看護師さんの業務日誌みたいなことをPRしている施設がありました。なるほどこういうふうに、定員が何人、職員が何人とやるよりも、そこで働いている人たちの内容はこうですとやるほうが、A6判で結構厚い、だからほとんどの看護師さんのお話でつづったような紹介の仕方をしておりますから、今、杉下さんの話を聞いていて、見せ方をどうするかというのも1つ工夫しなければいけないかなと感じました。

末吉委員 フォーラム開催は何を目的といたしますか、先ほど皆さんおっしゃった、この区民会議を皆さんに知っていただくためのフォーラムということで皆さんお話ししておりますので、これをどこに皆さんに知ってもらうためには内容はいいのかなと。要するに、いきいき部会とわづくりの両方ございますよね。その中で、それを発表していくのであれば、どこでも逆にいいのではないかと。

逆に、今お話しのお話の我々がやってきた防災についてであれば、区役所でも防災フェアとかがありますから、そういうところに一緒に出て、どういうところとやっているかというのを我々自身ももっと勉強していかないと、いろいろなところに提言しても、自分たちがわかっていないと提言できないんじゃないかと自分で思いましたので、私としてはどちらでも、知ってもらうためには広報でもいいですし、逆にそういうところに自分たちが参加して初めて自分の体験を語るような場所を設定していただければ

ありがたいなと思っています。

石橋委員長 資料5の開催目的というこの2つの丸が目的です。区民会議そのものを知ってもらうのではなくて、来年の提言に向けて、我々2つの部会がそれぞれ準備していることをある意味では補完するなり、そういう意見をいただきたいということでフォーラムを開きます。そのときに、区民会議はこんなことをやっているのかというのは後からつながってくると、今現在だったらそうしか言えません。まずは来年3月の提言に向けてそれぞれ進む方向性を決めてこれから取り組んでいくわけで、ちょうど11月3日にターゲットを絞りながら作業をしていって、こういう提言の内容について皆さん御意見をいただけませんかというものが、私は主たる目的だと思います。だから、この2つの丸です。

それで、ここの11階だったら仕掛けをするにしてもそんなにたくさんの仕掛けはつくれないということから、特にわづくりのほうで、PRのこともあるし生田緑地も場所に入れたらどうだろうかということで、①、②が出てきたという背景はあります。

末吉委員 交通手段などは、来ているお客さんに対して、この緑地を訪れている方を対象にということですか。交通性はどうですか。

石橋委員長 私の持っている知見だけです。交通アクセスに関しては、藤子・F・不二雄、あのドラえものところと生田緑地とつながっている便が1日に何回かありますし、もう1つは、専修大学の要するに生田緑地の西口から入ってくるのもあると思います。路線バスも遊園から抜ける路線バスがありますから、そういう路線バスを使う形になろうかと思えます。総合庁舎にしても、菅の方が来られるとなったら路線バスですよね。ですから、全くもって歩いて行かれるとは、生田緑地はどうですかと言われた人はアクセスはどうやって考えておられましたか。

戸高副委員長 石橋さんがおっしゃったように、私も堰のほうからですから、いろんなアクセスができる生田緑地というところがまた魅力だなと思っています。登戸駅からドラえもんバスに乗っても生田緑地のビジターセンター前でおられますし、反対に、宿河原のほうからもバスでも来られます。遊園からドラえもんのマークをたどって楽しく来ていただく方法もあります。

ですから、そういうアクセスの中で、この広報をする中で、生田緑地のビジターセンターにたどり着いてもらう何か楽しいことも入れ込んで、楽しく参加してくださいみたいなこともできたらおもしろいかなとも思います。

岩野委員 時間帯はいつごろを予定していらっしゃるでしょうか。というのは、この日は多分民家園祭りの日で、ものすごく人が来る日なので、昼間だとビジターセンターはパニック、それでなくてもビジターセンターはこの時期パニックですから、まず大変だと思います。とにかく、11月3日はすごい人ですよ。その辺もやっぱり考えてやったほうが良いと思います。

石橋委員長 岩野さんの意見については後で整理をすることにして、まずは杉下さんのほうから。

杉下委員 今まで話題に出ていないんですけども、高齢者時代なのではないわけではないんですけども、やはり身障者とか高齢者の参加を、大いに参加してほしいと思います。それに対応するような準備ができるのか、広さのことも考えて、あるいは介護者のことも考えて、車椅子でしたら移乗するとか、車からおりるとか、車椅子へ移るとかいろいろありますし、そういう対応を、今までこの区民会議フォーラムでは全く意に介していなかったと思うので、ちょっと頭に入れておいていただきたいと思います。

石橋委員長 まず、民家園祭りなんていうのは、皆さん、民家園と言われたときに、大体11月3日という日にちを先に決めたんですよ。その後で場所が来ましたから、経過からいったらそういうことですね。たまたまそれで民家園祭りとぶつかりますよと。

岩野委員 それだって11月3日というのは、生田緑地は紅葉と、とにかく晴ればすごい人なんです。1年で最も来る時期なんです。その辺も考慮したほうがいいと思います。

石橋委員長 まず、障害者の方と高齢者の方というのは、少なくとも今、ドラえもののほうには低床型は入っていないと思うんですけども、川崎市の市営の路線バスは、低床バスの普及率が9割近くですから、乗降にかかる時間はかかるかもしれませんが、そんなに不便にはなっていません。最近は電動の方が物すごく多くなっておりまして、電動であそこまで行くのは逆に言ったら簡単なと思います。ただ、もし生田緑地というふうになったら、そういうことの配慮は十分にしなければいけないと思います。

シャトルバスが出せるかといったらそういうお金はない、多分難しいでしょうけれども、そのような考え方も持たなければなりません。それは全て参加者をどうやって募るかという次のところにかかわってくると思うんです。人がたくさん来られるというのは、開催手法の中にシール投票という意見もどちらかの部会でありました。それは通りすがりの方に、よく町なかでやっておりますシール投票、どういうふうな項目を立ててやるかというのはそれぞれ考えなければならぬんですが、アンケートよりもシール投票のほうがはるかに手間はかからないと思いますから、そういうことをするには人がたくさん来られる時期を狙ってやるというのは1つの方法かなと思います。

そこに来られた方、全員に入ってもらおうというのはうれしい悲鳴ということなんですけど、多分通りすがりの人全部が入ってくれるとは思えないし……。流れの中では生田緑地だと思っているんですが、やっぱり総合庁舎のほうがなれているというか、多分事務局も楽ではないかと思うんですね。

山下委員　そういう意味で、今回この区民会議に初めて参加ということは本当に私と矢野さんだけだと思うんです。ですので、経験を生かされまして、それを昨年よりはもっと動員できる工夫を重ねられることができると思うんです。それで成功させようじゃないかと私は思います。

矢野委員　先ほど委員長から、開催目的はここに書いてある2点だという御説明があったんですが、建前から言えばこのとおりだと思うんですが、先ほど荒井委員からもありましたように、昨年は11階でやって数名という現状をお聞きしますと、意見をお聞きする前に区民会議の存在を知っていただく、あるいは多摩区の魅力について気づいていただくとか再認識していただくという意味では、外に出てビジターセンターで、例えば人寄せのためには、先ほど御説明のあった多摩区の観光大使の落語家の方がいらっしゃるとお聞きしていますけれども、人により多く集まっていただくにはそういう方も使って、その話を承り、あるいは周りに検討の展示物なり、できれば動画でもいいんですけれども、検討の経緯、結果を御説明するようなイベントも前後につくってという、数名よりは数十名、ビジターセンターの2階の片側でも、椅子を全部並べれば七、八十人は座れる場所だと私は思います。

それで、とりあえず存在を知っていただく、通りがかりでも入っていただく、多摩区の魅力を知っていただく。それを落語家の方が語れば、それはそれでおもしろいしゃべり口になると思うし、人はお集まりいただけるんじゃないかと。ついでにパネルも見るということで、こういうぐあいにやって、こういうことを検討しているのかという、区民会議という場をアピールできれば、以降、例えば11階でやっても、ああいうことだからまた行こうかという方もいらっしゃるかもしれない。というのでは、今までの位置をちょっと出て、一步踏み出して新しい趣向でやってみるのがよろしいんじゃないかと思えます。

石橋委員長　日にちは決まりました。あとは、場所と開催手法とに関係しまして、採決ではないですが、皆さん、外に出るといふことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

石橋委員長　それでは、第5期の区民会議フォーラムの場所は生田緑地と。今現在、東口のビジターセンターと科学館を押さえてありますので、この2つをまだそのままキープしていただきまして、なぜキープするかといたら、開催手法のところにかかってくると思います。こちらもどういう方法がいいかというのは、ここに書いてありますカフェ形式のほうが意見が出やすいねということもありましたので、こういう方法も取り入れていくということ。それから、観光大使の米多朗さんの落語を聞きながら、こここのところをそこに絞ってしまいますと、時間配分をどうするかということで、杉下部会長が言われる、それまでの間にある程度の成果物ができていれば、こういうふうになるんだよというものを、時間配分のところだろうとは思いますが。

もう1つ、戸高委員が言われましたそこへたどり着くまでのところを何かおもしろおかしく仕掛けをつくる、たどり着いてみたら区民会議フォーラムの場所だったということも考えて、何としても人をどうやって集めるかというところに最後はかかってくるのかなと思っております。

開催手法については、カフェ形式でやるということでもよろしいですか。スペース的にないというんだったら考えなければいけませんけれども、少なくとも1メートル80の机2本の幅があったところに、11月ですからお湯と、あとはそれぞれが飲みたいものを自分でつくって飲むというのがカフェ形式ですけれども、あとは宮前区のことを参考にしながらということで、カフェ形式で取り組むということでもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

石橋委員長 あとは、米多朗さんのところとかは、事務局と正副委員長にお任せ願えません。仕掛けをどうするかというのは、日程的にどうなっているのか、そこまでは押さえていませんので、起震車のほうは何とかかなると思うんですけども、そこがメインじゃないよということはもちろんしなないとはいけないと思うんですが、事務局と正副委員長に考えをまとめるのをお任せ願いたいと思います。

事務局でフォーラムについて補足説明することはありますか。

事務局 特にございません。

石橋委員長 では、ネーミングのほうもきちんと皆さんで、このところは何とか入稿、8月の中旬に入稿で、校正の最後が9月の頭で大丈夫なんですよ。

事務局 そのようなスケジュールになっております。

石橋委員長 その間に、それぞれの部会がありますので、事務局に御苦勞をかけますが、間に合えばそのときにもそれぞれの部会で検討できるような段取りも考えてみたいなと思います。

(3) その他

石橋委員長 次に行きまして、その他ですが、まだ説明していない資料があります。資料6について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、改めて資料6、第5期多摩区区民会議フォーラムスケジュールをごらんください。

フォーラムにつきましては先ほど御説明いたしましたけれども、繰り返しになりますが、次の各部会につきましては、人・まち・わづくり部会が7月29日、多摩区の魅力いきいき部会が7月30日を予定しております。その後の日程についてはこれからまた皆様と調整させていただきますけれども、およそフォーラムまでに部会をもう1回ずつ、必要に応じて準備会ということも考えてございます。

それから、企画部会、全大会、フォーラム後にまた部会を少なくとも1回、それを受けて企画部会を行いまして、また全大会を12月末ぐらいに置かせていただいております。その後、年が明けてから部会を1回、審議の状況によりましては、点線でお示ししておりますけれども、もう1回ずつぐらい開催することも考えられるかなと思っております。最後に、3月に提言、報告書の取りまとめに関する確認をいただく場として、全大会の開催を予定しておりますので、それに向けて企画部会も開催したいと考えております。

フォーラムの開催、その報告を中心にして、12月末をめどに第3号の区民会議ニュース発行を考えています。それから、最後、第4号としては、報告書の概要版という形でニュースの発行を予定しております。

人・まち・わづくり部会については、先ほど御説明いただとおり、ヒアリングに御協力をお願いしておりますけれども、8月から9月の中旬ということで、これから急ぎ調整に入ってまいりたいと考えております。近藤委員から情報をいただきました中野島音楽祭も、参加可能な皆様で視察に伺えればと思っております。

スケジュールにつきましては以上でございます。

石橋委員長 では、委員の皆様から何かその他で御意見はございますでしょうか。

杉下委員 私はカフェの内容が、ここで検討することではないでしょうけれども、カフェということであれば、来た方にそれが悪い印象、つまり、まずいとかいうことであると後々に悪い尾を引くので、やはりきちんとしたものを用意していただけると言うといけないんですけれども、用意したいと思います。場所もとるし、いろいろな始末も出てくるので、その辺については時間もありますから十分検討してほしいと思います。

それから、こういう物でつるといのはいけないんですけれども、でもやはりつられますから、私などすぐつられちゃうんですけれども、例えば多摩区の銘菓、末吉会長がおられますから、区からちゃんと予算を出していただいて、ミニ菓子の提供がありますとかいうようなことができないかなと思っておりますけれども、苦い顔をしていますけれども、私はそういうことがあっても構わないというふうに思います。

石橋委員長 多摩川は、宮前のフォーラムの前に、まちづくり協議会で幾つかのフォーラムをやっております、その中でもカフェ形式ということで、本当に参加された人たちがきれいに後始末もしてお帰りになっておられます。そのときにはコーヒーと紅茶と、あるときはお茶もあったかもしれませんが、それと駄菓子を用意してということで、そのようなやり方でしておりますが、それ以上のことは多分できないだろうと思っておりますけれども、何しろ皆さんできれいに使う、セルフできれいに使う、後始末もみんなですという形です。カフェ形式というのは、そういうことをベースにしているというふうに私自身は理解しております。

山下委員 雨天ということは考えますでしょうか。

石橋委員長 いつそのことを言われるかなと思っていました。ここにも、①、②についての課題は雨天のときだよと書いてあります。これは私の信条ですが、私も団体を率いて行事をやりますけれども、絶対雨は降らない。ものの見事に全部うまくいっています。先日、6月の多摩ふれあいまつりも、前の日まで雨だ雨だと言っていたけれども、きれいに晴れてくれました。快晴ではないんですけどもぱらぱらの雨でした。人を集めるというのでそのとき学んだのは、余談ですけども、かんかん照りはだめ、ジャージャー降りもだめ、ぱらぱらの雨があったら皆さん出てきてくれるんだなと思いますけれども、基本的には絶対晴れるという信念でやります。

でも、雨のときはどうするのというのは、どうやって来ていただけるかという、そのところだけですよ。ここにしても同じですね。雨のときにどうやって人に集まってもらえるかというのは、総合庁舎でも、生田緑地へ行っても、私は同じだと思います。ですから、皆さんで晴れるというふうに念じて、そして11月3日というのはそんなに悪い日ではないですよ。多分晴れますよ。

山下委員 蒸し返すようですけども、外ですということが冒険だと思うんです。それで、ここですることは経験済みのことなんです。それで、このカフェということであれば、ましてまちづくり協議会の方々の応援もいただけるかなとか、いろいろと経験者の方々を動員するというのも迎える側の準備だと思うんです。ですから、そういう意味では昨年の経験をより充実したものにするということで、私は冒険はしたくないなと思います。

石橋委員長 人を集めるというのは、これも私の経験則です。どうやって次、次とつなげて誘ってもらおうか、これしかないと思いますし、組織的にといたらそれなりの組織のところにきちんと挨拶をし、お願いし、最低限これだけの人をお願いしますというふうな手順を踏んでいけば、それなりの人数が出てくると思います。ですから、広報を出したら人が集まってくれる、そんなふうには私は思っていません。皆さん1人1人が声をかけて、行こうよというふうに誘い合って来ていただければ、人数はそれなりのところは行くのではないかと思います。

杉下委員 直接どうということではないのですが、かつてこの会議、全大会には、市議員の方、県議員の方、皆さん、第1期、第2期あたりではそろって出てくださいましたんですけども、このところ参加してくださる議員の方が少ない。これは非常に残念に思いますが、同時に、この区民会議の内容自体がそういうことになってしまったのではないかと私は思っていますので、きょうはまだ8時まで時間がありますから、お二方、本当に忌憚のない意見をおっしゃっていただきたいというふうに、心から思います。

石橋委員長 参与にはちゃんと感想を聞くというルールになっていますから、逆にプレッ

シャーを与えて大変なのかなと思いますが。

そのほか、その他ということでは何か御意見はありませんか。ないようでしたら、まずは、一旦閉じてから御意見、感想をいただくという形になっております。今回の閉会の挨拶は戸高副委員長からお願いいたします。

3 閉会挨拶

戸高副委員長 本日は本当に夏日の中、夕方お集まりいただきましてお疲れさまでした。

区民会議フォーラムに向けまして、具体的に会場ですとか、今後の両部会のタイムチャートも決まりました。これからの部会の中で本当に私たちが提言したいことを詰めていく時期に入っているんだなということを、本日のお話を伺いまして、それぞれが8月以降フォーラムまでの間に、中身の濃い部会をそれぞれで作り上げていただきたいと思います。本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

石橋委員長 では、参与から。先着順ということで、河野参与からお願いいたします。

河野参与 こんばんは。参与をさせていただいております河野ゆかりです。参加が非常に少なく申しわけありません。本日は、第4回の全体会議に参加させていただき、大変に勉強になりました。ありがとうございました。

さまざまな意見交換がされる中で、まず、人・まち・わづくり部会、審議会の経過報告、今までで6回、いろんな情報を入手されながらここまで築き上げられてきた中で、多摩区の中でも町会・自治会106団体ある中の代表的な町会の取り組みを紹介されていた中で、私もこの中の新多摩川ハイムさんが取り組まれている専修大学、明治大学のゼミと共同して防災マップを作成して、どんな防災マップかぜひ見てみたいと感じました。

それとともに、長沢自治会さんの中にもありますが、町会に入会するのを推進するために、おもちゃがもらえることを介在にその保護者に入会を勧めているとかいう記述があるように、106団体ある中で、皆さん加入率が低くて苦勞されているということを感じました。今後のフォーラムの中で、新しい方がこんな情報を入手して、町会・自治会に関心を持つ中で、ここにある防災・減災につながるんだということを感じていただければ、このフォーラムをきっかけに入会が進めばいいのになということを感じました。

あと、多摩区の魅力いきいき部会の審議会の皆様方も、それぞれ工夫をされている中で、やっぱり多摩区と言えば生田緑地というのが上がってくるんだなという中で、先ほど向ヶ丘遊園駅の駅名の改名の話が出ましたが、向ヶ丘遊園駅というのは小田急電鉄さんが遊園に集客をするために駅名を、もともとは稲田登戸駅という駅名を改名されたという経過があるらしいので、この区民会議発で、ぜひ区民また地域の意見として、小田急電鉄さんにすごく御協力をいただかないと改名というところに至るのは

大きな壁があるのかなとも感じますが、それぐらい区民の要望があるんだという、区民会議発で何か発案ができて、1つの形になっていけばなと思いながら、きょうは大変に勉強になりました。また次の会もぜひ参加していきたいと思っております。大変にありがとうございました。（拍手）

石橋委員長 では次に、井口参与、お願いいたします。

井口参与 こんばんは、井口でございます。おくれまして申しわけありませんでした。

杉下さんから、最近議員がフォーラムに来ないと。私、決して関心がないからではございませんで、たまたま去年はいろいろと自分の行事と重なりまして失礼をいたしたところでございます。11月3日も午前中だとありがたいんですけども、午後はちょっと厳しいかなという状況でございます。

私、1回目のフォーラムのときに誰かから同じことを言われまして、議員が来ないと。要するに、市民の自主的な活動に関心がないだろうと言われまして、そうだ、確かにそのとおりだと。市民の皆さんがどういうふうに思っているかを聞く機会を自分でつくらないのは議員としては失格だと思ひまして、だから、私はなるべく必死で伺うようにしているわけでありまして、別に来ない方がそうじゃないかという話はしません。いろいろなことが重なる中で、どれを優先するかといったときに、こうした皆さんの話し合いを聞くことは本当に有意義だと、私たちにとっての勉強になると思っております。

1階でプレーパークの展示がされていますよね。第1回目の区民会議のプレーパークが始まったのを、私はあのとき初めてプレーパークという言葉を知って、それが今こういう形で脈々と続いているのを見ると、やっぱり市民の皆さんが自主的にやられる活動そのものが区を変えていくんだなと思って、非常に感動的に見させていただいております。今回、皆さんの話し合いも、ぜひこれから発展して続いていきますように、実りあるものになりますように、私どもも全力を尽くしてまいりたいと思ひます。

今ちょうど川崎市は、別に宣伝するつもりはないんですけども、ちょうど議論しているので関心があるので、市の総合計画をつくっております、会派によっていろんな意見を持っているんですけども、何でも市民に丸投げという印象もあるんです。なので、私ども議会が、そして行政が、そして皆さんが、どういうふうにかという分担を考えていくいい機会でもありますので、ぜひそのことも議論いただければと思っております、また皆さんの御意見を伺ってまいりたいと思ひます。きょうは本当にありがとうございました。（拍手）

石橋委員長 ありがとうございました。では最後に、きょうが初めてですから、中村区長にお願いします。

区長 改めまして御挨拶させていただきますけれども、きょう、私は初めて区民会議に出

席させていただきましたけれども、皆さんの闊達な御意見、本当に区のことを大変思ってくれているんだということを改めて知ることができまして、本当に感謝申し上げます。次第でございます。

区といたしましても、こんなにすばらしいいろんな魅力がある区を私ども精いっぱい宣伝して、皆様、区の内外から来ていただけるような魅力ある区にしていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと存じます。きょうはありがとうございました。（拍手）

石橋委員長 どうもありがとうございました。

事務局 委員長、済みません。今、井口参与からもお話がありましたし、冒頭の区長からの挨拶もありましたが、今市では総合計画を策定しているところでございます。ちょうどこの7月いっぱい素案というものをまとめるタイミングになってございます。8月に入りますと、それをパブリックコメントということで、素案に対して御意見をいただくという機会がございます。主催をしているのは市の総合企画局でございますけれども、ぜひ区民会議でも素案の御紹介をする説明の場がほしいと、そしてパブリックコメントでぜひ御意見をいただきたいという意見をいただいております。

といっても、先ほどスケジュールで確認していただきましたとおり、8月には全大会はないんです。8月、9月の中で何か説明する機会があればということなんですけれども、今の予定ですと、それぞれ部会を開催する予定がございますので、部会が始まる前、15分ぐらいをまたいただいて説明させていただければと思っております。その方向で進めてよいかという確認をしたいんですけれども、いかがでございますでしょうか。

石橋委員長 全然予告なしの提案なんです、皆さん、部会の冒頭、総合計画について説明の時間をいただきたいということなんです、よろしいでしょうか。

〔拍手〕

石橋委員長 今、拍手がありました、私から言ったら逆に注文をつけたいんです。といいますのは、この前の地域福祉計画か何かのときのヒアリングも同じような手法をとられているんです。オーケーですから、区民会議のメンバーには資料を当日配付ではなくて事前配付してください。そうでないと、部会のところでこれだけお示ししました、これで終わりというのでは、それで説明したという口実を与えるのは私の性分から言ったらおさまりません。もう資料ができていたら事前配付をしてください。

事務局 補足させていただきますと、まず、8月1日に市政だより特別号というのを出す予定でございます。こちらは新聞折り込みで全戸配布されます。また、それ以外にも皆様にお配りすることもできます。素案自体がすごく分厚いんですけれども、当然これも市のホームページ等にも掲載いたしますので、皆様にもお配りすることができます。

ます。

実は、この総合計画、先ほど議員も市民丸投げ的なものもありましたけれども、実はもう1回パブリックコメントのタイミングがございまして、11月から12月にかけて、素案から具体的な取り組み内容を決めたもの。実はここでも話をしたいと言っているのですが、ちょっとうんざりする部分もあるかもしれませんが、忌憚のない御意見をいただくために、我々事務局としては必要な情報を早く入手して皆様にお届けしたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

石橋委員長 わかりました。何しろ資料をその場に来てその場ではいと、5分、10分でこの総合計画が理解できるかといったら、そういう代物では私自身はないと思っていますので、少なくとも、概要版にしる何にしる、そういうものをそこで説明するんでしたら説明する資料を事前に配付してくださいということです。お願いします。

では、これで第4回区民会議全大会を閉じたいと思います。

午後7時55分閉会